

生涯スポーツの実現に向けた運動部活動に関する一考察
A consideration about the sports club activities in realization of life long sport
1K08B004-6 赤堀 勇太
指導教員 主査 吉永 武史先生 副査 深見 英一郎先生

【序 章】

＜研究の動機＞

私は9歳の頃からサッカーを始め、大学生となった現在でも競技としてサッカーを続けている。これまでサッカーを通して学んだことが自らの成長に大きく繋がっている。特に、指導者との出会いに恵まれ、サッカーの技術だけでなく、礼儀やマナーなど人として当然やらなければならないことの指導を受け、人間としても大きく成長することができた。

しかし、自分と同じように、指導者に恵まれた競技生活を送ることができる選手は良いが、そうではない選手も数多く存在する。現在でもよく目にするが、ミスした選手を怒鳴りつけ、試合後に説教を長々と繰り返す指導者、気に入らないプレーをした選手に暴力を振るい、罰走させる指導者などさまざまな指導者が存在する。そのような指導者がいるチームでプレーしている選手は、ワンプレー終わるたびにベンチの様子を伺い、サッカーの楽しさをまったく感じていない。この中から、卒業後も生涯にわたってサッカーに関わっていく選手が何人もいるのかと疑問を感じざるを得なかった。

運動部活動は、学校教育の一環であるにもかかわらず、このような指導者のもとで活動が続けられて本当に良いのか甚だ疑問である。体罰や罵声を浴びせるなど心と体を痛めつけるような行動が日常茶飯事となっている運動部活動。「うまく、強く、たくましくなりたい」と思って入部してくる生徒はたくさんいる。そのような願いを大切にできる心が指導者である顧問には必要不可欠である。

＜研究の目的＞

そこで本研究では、運動部活動の現状と問題点を分析し、本来の運動部活動が持っている意義や可能性について検討することを目的とする。そして、これからの運動部活動が、生徒たちにとって有意義なものとなり、生涯スポーツに繋がっていくような運動部活動のあり方についての提言を行いたいと考える。

＜研究の方法＞

本研究は、運動部活動における体罰に関する指導にもとづく文献研究によって進めていく。また、インターネットによる情報も参考にしながら考察を進めていく。

【第1章】運動部活動の意義と課題

第1章では、運動部活動を行う意義と現状の活動の中で挙げられる課題について検討した。運動部活動は、生徒の心と体の発達に貢献し、学校生活の充実を促す豊かな可能性を秘めた有意義な活動であると考えられる。しかし、現実では本

来の意義を発揮していないことが少なくない。またさまざまな問題を抱えているのが現状である。その中でも、運動部活動が勝利至上主義に陥ってしまっていることが最も深刻な問題であると考えた。勝利至上主義になり、勝ちたいという強い思いが、体罰や罰走など歪んだ形として現れている。その結果、生徒の心に大きな歪みが生まれバーンアウトの状態になることでスポーツから離れた生活を送ることになる。

【第2章】運動部顧問（指導者）に求められる資質・能力

運動部活動が変わるためには根本として指導者が変わらなければいけない。そのため、第2章では、指導者に求められる資質・能力について検討した。

指導者には、まず生徒たちに対して効果的な練習を行わせるための指導技術と専門的知識が求められる。さらに、生徒たちの意見や行動を肯定的に捉え選手の成長を根気強く見守ることができる忍耐力などパーソナリティーの面も重要になってくる。そして、部活動をスムーズに展開するための組織運営・マネジメント能力も必要になる。

【第3章】運動部活動における課題解決のための方策

第3章では、今まで取り上げてきた部活動の問題を解決するための方策について検討した。

まず、これからのスポーツに対するニーズや変化に対応するためには高い専門性が求められる。そのため指導者資格制度を充実させ、指導者のレベルアップを図ることが必要になる。また現状として、指導者や施設の質・量ともに学校内だけでは補いきれなくなっているため、地域に眠るスポーツ人材を積極的に活用し、学校だけでなく地域全体でふさわしい環境づくりに取り組んでいくことが求められる。外部指導員を積極的に登用することや地域スポーツクラブと連携することで、優れた指導者から指導を受けることや充実した施設で運動部活動を行うことが期待できる。

【結 章】

運動部活動の教育的な意義は誰もが認めるところである。しかし、運動部活動の現状を考えると様々な問題を抱えており、部活動の在り方をもう1度考え直すべき時にきていると感じる。これからは顧問が正しい知識をもち指導にあたっていくこと、そして地域全体で運動部活動を支える時代になったと認識しなければならない。生徒たちにとって最も良い環境を提供し、教育的意義が発揮されるように新しい形の運動部活動が展開されていくことが望まれる。